

あすなろだより

2017年 2月

広島市立美鈴が丘高等学校あすなろ会 担当 1年2組



雪のちらつく寒い日が続きますが、もうすぐ合唱祭♪ 風邪に気をつけて元気に過ごしたいですね。
今月も心温まるボランティアの報告をお届けします。
今回の担当は1年2組です!!

○書き損じハガキのご協力ありがとうございました。

書き損じハガキを集め終わり、「広島県視覚障害者福祉協会」に先日お届けしました。合計86枚のハガキを寄付していただきました。ご協力いただきありがとうございました。

○現在、ジャージと体育館シューズの回収を行っています。3年生のみなさん、ご協力をお願いします。

先月のあすなろだよりでお知らせしましたが、現在、ジャージと体育館シューズの回収中です。発展途上国の子どもたちへ贈るので、家庭科準備室前の回収箱まで是非お願いします!

○手話講座を行いました。

1月20日と27日に、佐伯区ボランティアコーディネーターや社会福祉士の方をお招きして手話講座を行いました。あすなろ会以外の方も参加しました。ボランティアの方の手話を通して、聴覚に障害がある方とお話し、これまでの体験などを伺いました。その後、「ありがとう」「すみません」「こんにちは」「さようなら」などの挨拶の手話を教えていただきました。

次回は3月17日に被服室で行います。興味のある人は一緒に参加しませんか?

参加した人の感想

- 日常で耳が聞こえないのはとても苦勞することが分かりました。手話を覚えて、多くの身の聞こえない人を助けられたらいいなと思いました。
- 手話講座を通して自分でも耳の不自由な方々を助けることができるのだと強く実感することができました。



○千歳園で芸術教室を行いました。(美術部・書道部・あすなる会 1/28)

同級生に説明をするのと違い、お年寄りの方1人1人に合った対応をとることが大切だと思いました。

(美術部)

私たちの考えるお年寄りのイメージは、うまく会話ができない、細かい作業ができない、すぐ物を忘れてしまうといったことがありました。しかし、職員の方や友達のサポートを受けて、耳元で話したり、視線を低くしたりして、楽しく会話することができました。書道の経験者がおられたのですが何十年経った今でもとてもお上手で、以前私が考えていたお年寄りのイメージは変わりました。(書道部)

今回の交流を通して、お年寄りの方々と一緒にお話しができて良かったです。最後、とても楽しかったと泣いて喜んでくれたことがとても感動的でした。本当に来てよかったと思いました。来年も参加したい！と思えるような時間でした。

(あすなる会)



○ペットボトルキャップ回収ボランティア報告(2-3、2-4、2-5、2-6、あすなる会)

2年生文系生徒27人とあすなる会で回収活動に取り組みました。合計15,652個のキャップを回収し、広島労働会館の方へお渡ししました。担当の方から、売却益をNPO法人「世界の子どもたちにワクチンを」日本委員会(JVC)に寄付し、途上国にワクチンを届けるという話を伺いました。

今回、集めたキャップは、18人分のワクチンとして発展途上国の子どもたちに届けられます。少しずつ集めたキャップが、子どもたちのワクチン資金となることを知り、この活動の意義を改めて認識しました。

今後もあすなる会で活動を継続します。クラブやクラスで集めたキャップがあれば被服室まで持って来てください。よろしくをお願いします。

○一つずつきれいに洗って乾かしました



○洗っている様子



○広島労働会館の方の説明を聞きました

